

# ARAI NEWS

Actual Story From Inside.



## アライの鈴鹿8時間総括

今年も真夏の祭典「鈴鹿8時間耐久レース」が無事に終わりました。猛暑の中をレースに参加したライダーと観客の皆様本当にご苦労様でした。

ところでアライは毎年鈴鹿耐久ではインダクションボットのプロトタイプやプロシヤッターシート等、数々のベンチレーションシステムをテストして来ました。なぜかといえば、暑いからですと宣ってしまえば簡単ですが、走っているライダー達は想像を絶するような暑さで、一度走り終わった後などヘルメットの中に汗がたまってしまう、さわるのもいやになる程、これを見たらとても熱くて見過せません。

今年エアロアウトレットとでも名付けたらいいんでしょうが、後頭部の一番空気が引く張られる位置に空気取り出し口を設け、同時に後頭部の空気の流れを整えようという、ヘルメット本体に取り付けるエアロキットみたいなものをテストしてみました。もちろん安全には頑固なアライが作ったものですから、一番大切な構体には何の影響も及ぼさないうで、後頭部のネックパットから空気を導き出すもので、転倒した際にもすぐつぶれるような非常に柔らかい材質で作られています。カッパはともかくこれを装着したヘルメットの社内でのテストもまずまずの結果だったので、これで選手の負担を少しでも軽く出来るのではないかと思います。鈴鹿に挑みました。

決勝レースの間も、カワサキに乗る岡正弘選手にテストして貰いましたが、ヘルメットにたまる汗の量がかなり減り、走った後でも内装はサラツとしていたそうです。但し整流効果については今一歩で、高速で横を向いた時にかなりあおられてしまうということで、残念ながら市販してお客様に使って頂くにはまだまだ遠いなあとというのが正直なところでした。ただ将来の方向として、こういったものも試しているんだということを覚えておいて下さい。

それと同時に今年もプロシヤッターシートとインダクションボットが大好評で、もうこれがなくては走れないという選手ばかりです。今年もV田等でおなじみのスーパードライバー内装と組



### 日本二初の本格的F-1ドライバースーツ

合わせのため、効果は昨年よりも格段にあると喜ばれていました。他メーカーのヘルメットをかぶっている世界的有名ライダーが、インダクションボットをお願いだから付けてくれと行って来たので、取り付けて上げたところ、すこく良かったと大変喜んだそうです。雑誌をよく見ると思わぬところにインダクションボットが付いているのに気が付くかも知れませんよ。

今年8時間が終わってもグランプリや、富士のインター、TBC等ビックレースがめじろおし、アライにとつてレースはテストグラウンド、レースファンのみなさんがワクワクしてくるのと同じようにアライも関心が燃え上がってきます。

ヤツタゼ。思わず叫びたくなるようなニックネームです。米シズンより中嶋悟選手が、F-1でも超名門のチームロータスの一員として、F-1シリーズにフルエントリーすることになりました。もちろん日本人としては初めてのことで、アライは中嶋選手を1978年からずっと応援して来ました。ついにここまで登って来たかと感無量の気持ちです。みなさんもこれを機会にずっと応援してあげて下さい。お願いします。

